



日本 IDDM ネットワーク創立 10周年

1型糖尿病を考える全国フォーラム

日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位(2群)1単位



患者・家族の未来に向けた多様な選択肢

■日時/
2006/ 1/28 SAT
 10:00~16:30

■会場/明治大学アカデミーホール

■日時/
2006/ 1/29 SUN
 10:00~12:00

■会場/飯田橋レインボービル

CONTENTS

- 1. 理事長挨拶 1
- 2. プログラム(28日・29日)..... 3
- 3. 司会者・1型糖尿病研究基金のご紹介..... 4
- 4. 各講師のレジュメ(28日)..... 5~11
- 5. 展示企業のご紹介 12~21

- 6. 各分科会の概要(29日) 22~25
- 7. 日本IDDMネットワークの事業概要 26
- 8. 日本IDDMネットワークの10年の歩み 27
- 9. 1型糖尿病お役立ちマニュアルのご案内 28
- 10. 入会のご案内 29~30



ごあいさつ



特定非営利活動法人
日本IDDMネットワーク
理事長 井上 龍夫

皆様、本日は日本IDDMネットワーク創立10周年「1型糖尿病を考える全国フォーラム～患者・家族の未来に向けた多様な選択肢～」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

日本IDDMネットワークは、今年で設立から10年を迎えることができました。これも、今回ご来場の皆様を始め多くの方々の多大なるお力添えによるものであり、この場を借りて心よりお礼を申し上げます。

日本IDDMネットワークは、平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災において被災地の患者がインスリンの入手等に変な苦勞を強いられたことを契機に、こうした緊急時の対応を含めた全国の患者・家族会の連携を図ることを目的として同年9月に「全国IDDM連絡協議会」としてスタートいたしました。その後ニーズの拡大に伴い、全国のインスリン依存型糖尿病患者の自立推進母体としての使命に積極的に応えられるよう、平成12年に「全国IDDM連絡協議会」を発展的に解消して「特定非営利活動法人全国IDDMネットワーク」を設立し、また平成15年6月には世界を視野にいたした事業展開も目指すべく「特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク」へと改称して現在に至っております。

ご承知のとおり、1型糖尿病は日本での年間発症率が10万人あたり1～2名と少なく、一般にはあまり知られていない病気です。そのため、一般社会ではもちろん、医療現場でさえ病気が正しく認知されておらず、患者や家族が社会生活において心無い差別を受けたり、適切な療養指導が受けられなかったりという現状があります。また、小児・若年期発症が相対的に高く、一生をインスリンに依存する不治の病との宣告を受けた患者や家族の不安は計り知れないものがあります。

そのため、私たち日本IDDMネットワークは、広く社会に対しこの病気と患者を取り



巻く環境への理解を求めるとともに、患者や家族に対し正確で役に立つ情報提供を行い、少しでも不安を取り除き前向きな気持ちで療養に取り組んでもらえるよう活動して参りました。

2002年には「1型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアル」を発行しましたが、当初の予想を遙かに超え、現在10,000部もの発行に至り、マニュアルに対するご要望の多さに驚きました。また、このマニュアルは日本で初めて、糖尿病専門医・管理栄養士・患者・教職員・行政職員などがそれぞれの専門分野をいかして一つの書物として編集した1型糖尿病のガイドブックであり、患者のニーズに合った質の高い内容になったのではないかと自負しております。2005年にはさらに内容を追加して「1型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアルPart2」を7,000部発行し、こちらも現在全国各地からお問い合わせをいただいているところです。

これ以外にも、これまで調査研究、シンポジウム開催による広報活動、行政への政策提言（ロビー活動）、医療関係団体との連携強化など年々活動の幅を広げてきております。

一方この病気に関わる環境にも変化が起き始めています。医療技術の進歩は著しく、生活パターンや体調にあわせたフレキシブルなインスリン療法も可能となっており、一昨年には「睥島移植」が日本で初めて行われ、すでに移植を受けた何人かの患者さんはインスリン注射から解放されています。様々な分野の第1線で活躍する1型糖尿病患者の方々も増えてきており、私たちにとって大変喜ばしいことと考えております。

今回のフォーラムは、このように患者を取り巻く環境や患者のニーズが変わりつつある中で、あらためて私ども患者・家族の置かれている状況を鑑みて

- ①新しい医療や患者支援ツールの選択肢を患者・家族に示すこと
- ②患者・家族へ元気と明日への勇気を与えること
- ③一般の方々にこの1型糖尿病とその抱える問題を正しく理解していただくこと

をねらいに企画しました。さらに、患者には普段じっくり手にとっていろいろ見比べるチャンスが少ない「1型糖尿病関連製品」の展示会を併設することにしました。この展示会は多くの関係企業の方々のご協力で実現しました。これこそ現物を見て、触ってどんなものが「現在の選択肢」として存在するのか患者自身で確かめられる良い機会になるでしょう。今回のフォーラムは企画から運営まで全て患者・家族が主体的に取り組んだまさに手作りのイベントです。その分、準備不足や配慮に不十分な点もあろうかと思いますが、この2日間にわたるイベントを通して患者・家族の方々には明日からの療養生活に何かひとつでも明るいものを見つけていただき、患者・家族以外の方にも1型糖尿病患者に対する理解が少しでも深まるような実り多いフォーラムとなるよう祈念し、開催のご挨拶といたします。

2006年1月



プログラム program

1月28日 SAT

10:00~16:30

明治大学アカデミーホール

シンポジウム

1型糖尿病を取り巻く環境と日本IDDMネットワークの取り組み

10:00~10:15

特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク理事長 井上 龍夫

夢をおいかけて

10:15~10:30

エアロビックス世界チャンピオン(2002年・2003年)1型糖尿病患者/熊本大学2年 大村 詠一

1型糖尿病の最新インスリン療法について —ポンプ療法を中心に—

10:30~11:30

大阪市立大学大学院発達小児医学教室 川村 智行

ビデオメッセージ

11:30~11:45

2005年プロ野球阪神タイガースドラフト希望枠指名 岩田 稔

—— 休憩 ——

さあセルフマネジメントを始めよう!

13:00~13:45

日本慢性疾患セルフマネジメント協会 伊藤 雅治理事長、京野 文代、武田 飛呂城

僻島移植~1型糖尿病根治へのロードマップ~

13:45~14:45

京都大学医学部附属病院僻島移植チームリーダー 松本 慎一 & 仲谷 満子(移植患者)

—— 休憩 ——

チャレンジ精神を持って生きる

15:00~15:50

1型糖尿病患者の父/タレント・コラムニスト・ツリークライミング®️ジャパン代表
JOHN GATHRIGHT (ジョン ギャスライト)

ミニライブ~夢をつかむまで!

15:50~16:20

1型糖尿病患者/癒しとユーモアのパラード歌手 HANZO

1月29日 SUN

10:00~12:00

飯田橋レインボービル

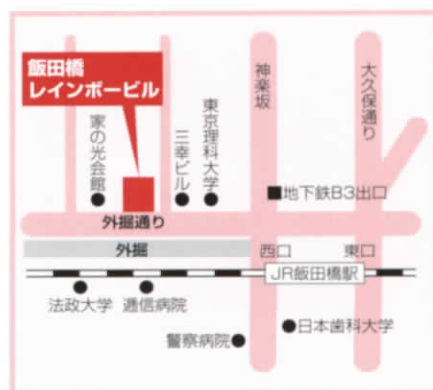
ワークショップ

1 第1分科会(定員60名)
より良いコミュニケーションのために
語り合おう~患者の気持ち・医療者の気持ち~

2 第2分科会(定員70名)
かんたん!カーボカウント
~炭水化物で決めよう!インスリン~

3 第3分科会(定員50名)
学校関係者と家族のための1型糖尿病教室

4 第4分科会(定員45名)
大災害、その時あなたはどうする?!
~災害時の行動指針と支援~



司会 Chairperson



プロフィール

水瓶座 O型 天王星人(-)
1998年1型発症
散歩、F-1観戦、占い、が好き!
takako-anami@u01.gate01.com

フリーアナウンサー
阿南 貴子
(あなみ たかこ)

フリーアナウンサーとして

フリーランスで「声」の仕事がしくて、昨秋サラリーマン生活に終止符を打ちました。高齢化傾向の日本で「中高年の、中高年による、中高年のための女子アナ」を目指します(笑)

DM患者として

DM発症時は海外にとっても興味がありました。就職、移住、旅行等々、あらゆるシーンにおいて、いつも外国の地が頭を過ぎります。だから、「糖尿病」と診断された時も外国の糖尿病患者は何を食べてるんだろう…?なんて考えてました。今でも、グルメの国イタリア、フランスの糖尿病食に興味津々。一緒に探れる人がいたら連絡ください。

1型糖尿病研究基金

別添の趣旨書を是非ご覧ください。





シンポジウム Symposium

1型糖尿病を取り巻く環境と日本IDDMネットワークの取り組み



特定非営利活動法人
日本IDDMネットワーク
理事長 井上 龍夫
(いのうえ たつお)

プロフィール

1952年 東京に生まれる。
1991年 息子(当時7歳)が1型糖尿病発症
1992年 つほみの会愛知・岐阜に入会
1996年 つほみの会愛知・岐阜 会長就任
1998年 全国IDDM連絡協議会 代表幹事就任
2000年 特定非営利活動法人 全国IDDMネットワーク理事長就任
現 在 特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク 理事長
つほみの会愛知・岐阜 会長
愛知県難病団体連合会 副会長
(社)日本糖尿病協会 小児糖尿病対策委員会副委員長
日本慢性疾患セルフマネジメント協会 理事
職 業 会社員(研究開発)

■1型糖尿病を取り巻く様々な問題と解決のアプローチ

1.医療・福祉制度

- ・20歳未満の医療費支援、福祉制度 ⇒ 小児慢性疾患治療研究事業、特別児童扶養手当の全国一様な運用
- ・20歳以上の1型患者の医療費 ⇒ 公的支援の導入により質の高い療養を継続

2.情報・相談

- ・患者・家族への情報提供 ⇒ 最新情報の入手、最適な選択(療養手段、生活環境)
- ・医療相談、生活相談の窓口 ⇒ 患者同士の支援、患者教育、ピア・カウンセリング

3.生活環境(社会の理解と受け入れ)

- ・学校での療養と理解・協力 ⇒ 差別やいじめのない教育環境
- ・就労、職場での問題 ⇒ 病気をオープンにして就職、差別のない職場環境

4.医療・療養環境

- ・インスリン療法、SMBG ⇒ 多様な製剤、安全性、新しいデバイス(ポンプ、非侵襲性)
- ・食事・栄養指導 ⇒ 1型糖尿病の合理的な食事の考え方確立で患者負担の軽減
- ・新しい(根治)療法 ⇒ 膵島移植、再生医療の研究開発促進、新薬承認、保険適用

5.危機管理

- ・大規模地震時などの対応 ⇒ 患者のとるべき行動指針、サポート側の体制の整備

■日本IDDMネットワークの使命と取り組み(これからの10年のを描きつつ)

患者と家族が安心して暮らせるために

- ・医療・福祉制度などの共通な課題の解決、改善への提案(行政への政策提言)
- ・社会からの理解と受け入れの推進(公開シンポジウム、マスコミとの連携)
- ・災害時などの緊急支援体制の実現(行政、医療機関、製薬企業などとの連携)

正確で新しい情報提供、きめ細かい相談対応

- ・国内に巡らした情報ネットワークによる情報発信、調査研究、問題の発見
- ・様々な機会、媒体でのきめ細かい相談事業、患者自立支援(セルフマネジメントプログラムの普及)

安全で質の高い医療、根治に向けた先進的医療が受けられるために

- ・専門医との連携、患者側による先進医療の研究開発促進(1型糖尿病研究基金の設立と運用)
- ・製薬企業との直接的な情報交換、医薬品・医療機器の安全性向上に向けた協働作業

シンポジウム Symposium

夢をおいかけて



プロフィール

- 熊本大学教育学部2年
- スズキワールドカップ(世界エアロビック選手権大会)2002・2003ジュニアパーシティーシングル部門(14~17歳)優勝(2連覇)
- スズキジャパンカップ(全日本エアロビック選手権大会)2005一般の部(18歳以上)男性シングル7位、ペア準優勝(世界大会出場決定)、トリオ3位

大村 詠一

(おおむら えいいち)

◆エアロビック演技(シングル)

◆インタビュー

- ・糖尿病になってよかったこと
- ・糖尿病を自分の個性と思うこと
- ・今後の夢



シンポジウム Symposium

1型糖尿病の最新インスリン療法について ～ポンプ療法を中心に～



大阪市立大学大学院発達小児医学教室

川村 智行
(かわむら ともゆき)

プロフィール

- 昭和60年／大阪市立大学医学部卒業
- 平成3年／大阪市立大学大学院医学研究科卒業
- 平成3～5年／カナダ国カルガリー大学糖尿病研究所研究員
- 平成6年～／大阪市立大学大学院発達小児医学教室助手

この講演では、できるだけ具体的な例をあげて最新のインスリン療法を紹介いたします。

1. インスリンの種類とそれぞれの特性

速効型、中間型、超速効型、持続型インスリンと使えるインスリンの種類は増えました。

それぞれのインスリンの作用時間や特徴を理解してうまく使い分けましょう。

2. 生活に合わせたインスリン療法の選択

インスリン療法に生活を合わせるのではなく、年齢・生活などにインスリン療法を合わせることができます。様々な工夫を紹介します。

3. 超速効型インスリン(ヒューマログ、ノボラピッド)の使い方

速効型インスリンと、超速効型インスリンの違いを理解してうまく使いましょう。

4. 持続型インスリン(ランタス)の使い方

持続型インスリンは、どのように使えばいいのかを紹介いたします。

ランタスは血糖を維持するためのインスリンと考えてください。

5. インスリンポンプ療法の紹介

インスリンポンプは、難しい・上級の治療法ではありません。誰でもできる簡単な方法です。とても便利で、快適な方法です。使いこなすと血糖値コントロールは、間違いなく改善します。

6. カーボカウント法の紹介

超速効型インスリンの効果時間はちょうど炭水化物の血糖に及ぼす時間と同じです。ですから食事前のインスリン量の計算には食事時の炭水化物量で決まります。それがカーボカウント法です。カーボカウントをうまく用いることで、食生活を豊かにできると思います。

シンポジウム Symposium

さあセルフマネジメントを始めよう! ～セルフマネジメントプログラムの概略とワークショップについて～



日本慢性疾患セルフマネジメント協会
理事長 伊藤 雅治
(いとう まさはる)

プロフィール

●昭和43年5月/新潟大学医学部卒
●昭和46年4月/厚生省入省
●平成11年8月/厚生省健康政策局長
●平成13年1月/厚生労働省医政局長
●平成15年3月/社団法人全国社会保険協会連合会理事長(現職)
●平成17年10月/日本慢性疾患セルフマネジメント協会理事長(現職)
●兼職/日本医科大学理事・獨協学園理事

慢性疾患の人のためのセルフマネジメントプログラム(通称:セルフマネジメントプログラム)は、米国スタンフォード大学医学部患者教育研究センターで開発された患者教育プログラムです。このプログラムの研究は、1970年代後半からケイト・ローリッグ氏を中心とする研究チームによって始まりました。研究チームは多くの慢性疾患をもつ人への聞き取り調査をもとに、慢性疾患をもつ人が抱えている悩みやニーズにこたえられるよう具体的なテーマを絞ってプログラムを開発しました。

セルフマネジメントプログラムにおいて、慢性疾患を持つ人が「セルフマネジメント」するポイントは、以下の3点です。

1. 治療の管理(薬の服用などの治療方針について、医師と良いコミュニケーションをとりながら、自ら正しく実行していくこと)
2. 社会生活の管理(慢性疾患とうまく付き合いながら、仕事や家事、育児といった社会生活を営んでいくこと)
3. 感情の管理(病気からくる疲労感や不安、怒りなどと向き合い対処すること)



マスタートレーナー
京野 文代
(きょうの ふみよ)

プロフィール

「セルフマネジメント導入プロジェクト」の発足に先立ち、2004年10月、スタンフォード大学にて研修を受け、マスタートレーナーの資格を得る。

2005年7月、第1回リーダー研修(東京)において、13名のリーダー養成に貢献。

2005年10月、「患者中心の医療を考える国際シンポジウム2005」(日本製薬工業協会主催)にパネリストとして参加、「セルフマネジメントプログラム」に多くの関心を集める。

地元岡山では、薬学研究員としての仕事の傍らボランティア活動を行い、小児で発症した1型糖尿病患者、思春期あるいは働き盛りになって発症した1型糖尿病患者のよき相談相手となる。2004年「ガリクソン賞」受賞。

日本慢性疾患セルフマネジメント協会では、慢性疾患とともに生きる上で必要な上記3点について学ぶため、セルフマネジメントプログラムのワークショップを随時開催しています。ワークショップは協会で所定の訓練を受けた2名のリーダーのもと、10名前後の慢性疾患を持つ人が集まり、グループディスカッション形式で学べるようになっています。ワークショップは疾患の種類に関係なく、慢性疾患を持つ人とその家族であれば誰でも受講することができます。

ワークショップの開講日程など、詳しいことはホームページに掲載していますので、興味をもたれた方はそちらもご覧ください。

ホームページ <http://www.j-cdsm.org>



日本慢性疾患セルフマネジメント協会
武田 飛呂城
(たけだ ひろき)

プロフィール

患者会でセルフマネジメントプログラムと出会い、2005年7月のリーダー研修に参加。同年10月1日、日本慢性疾患セルフマネジメント協会設立の際、同協会の事務局員に。現在は協会の広報やワークショップの運営などを担当している。また、自身も協会のリーダーとして各地でワークショップを開催中。3月にはスタンフォード大学でマスタートレーナー研修を受講予定。



シンポジウム Symposium

膵島移植 ～1型糖尿病根治へのロードマップ～



京都大学医学部附属病院膵島移植チームリーダー

松本 慎一
(まつもと しんいち)

プロフィール

- 1997-1999/ミネソタ大学外科フェロー
- 1999-2002/ワシントン大学外科フェローおよび臨床顧問
- 1999-2002/ブージェットサウンドブラッドセンターフェローおよび主任研究員
- 現在:京都大学医学部附属病院臓器移植医療部・助手
Diabetes Research Institute Kyoto, Director



仲谷 満子 (移植患者)
(なかたに みつこ)

プロフィール

1型糖尿病発症28年後に京大病院にて2004・2005年と3回の膵島移植を受け、2005年3月にインスリンフリーを宣言。現在は低血糖もなく仕事にあげくれる元気な毎日を送っている。

1. 膵島移植とは
2. 膵島移植の適応
3. 膵島移植の世界の状況
4. 膵島移植を日本で始めるにあたっての準備と苦労
5. 膵島移植の実際:膵島分離の京大法の確立と点滴による移植
6. 成績
7. 世界との共同作業:Diabetes Research Institute KyotoのDirectorに就任して
8. 1型糖尿病研究基金のお願い
9. 1型糖尿病の根治へ向けての更なる研究
10. プタを用いた異種移植
11. 幹細胞からのベータ細胞創造と増殖
12. Dreams

シンポジウム Symposium

チャレンジ精神を持って生きる



1型糖尿病患者の父
タレント・コラムニスト・ツリークライミング®ジャパン代表

JOHN GATHRIGHT
(ジョン ギャスライト)

プロフィール

10人家族、8人兄弟の長男。1985年、憧れの三英傑の尾張名古屋に来日。南山大学日本語別科にて日本語を学び、91年同大学三年に編入、在学中よりテレビ・ラジオ番組に出演。93年卒業し、日本人女性と結婚。二児の父親でもある。現在は愛知県瀬戸市の森に味噌ダルの廃材を利用しツリーハウスを建て森で暮らす。またツリークライミング(ロープと専用の道具を使った安全な木登り)を通じて自然とふれあい、その中で環境にやさしい心を育てるツリークライミング®ジャパン(本部アメリカ)を設立。日本にレクリエーショナル・ツリークライミングを紹介した第一人者でもあり2005年には万博で自然体感プログラムのプロデューサーを務める。2年前に息子が1型糖尿病を発症し、それから毎日、親子で共に支えあいポジティブに何事もチャレンジし生きることには挑戦している。

自己紹介&活動紹介

2001年フィジカルチャレンジャー(身体障害者)の女性と80メートルの巨木へ登る挑戦をした。叶わないと思った夢を実現したことを目の当たりにし応援できたことが、今、息子の病気が発症した時、息子に役立った。バリアフリーの森でバリアフリーの心を育て、いろんな人が共存して尊敬しあえる環境を作っていくことが大切だと思う。

幸せのベースはいつも家族

信頼できる親子の絆を築くために
心が健康でさえあれば困難を自分で乗り越えていく力をつけることができる
自分はスペシャル!やれば出来る!という自信を持って生きてほしい
いくら仕事で成功をしても家族で成功しないのは本当の成功とはいえない

1型糖尿病を人生のポジティブな切り札にしよう

この病気になったから出来ることをいろいろ発見
家族全員が健康に対する心がけが正しい方向に変わってきた

アメリカの1型糖尿病キャンプに参加して

2004年、家族で初めて1型糖尿病のキャンプ(アメリカカリフォルニア州)に参加したときの様子

ドリームメーカーになろう!

いつも夢を持って生きることは大切だと思っている。その夢が見つからない時は誰かの夢を応援しようと祖父から教えられ自分は生きてきた。そして自分も夢を叶えながらここまで来た。子どもが夢を見つけた時は、応援できるドリームメーカーになろう。



シンポジウム Symposium

ミニライブ～夢をつかむまで！



1型糖尿病患者／癒しとユーモアのバラード歌手

HANZO

プロフィール

癒しのバラードを歌うシンガーソングライター
ライブ・ディナーショーで全国展開中
有線・シングル「心花」アルバム「インスリン依存型」
カラオケDAM・「心花」が配信。
5曲入りアルバム「インスリン依存型」発売中
拉致被害者の家族へ贈る「北の海よ」発売中
島根県安来市出身12月13日生まれ
身長170cm、体重54kg A型

「インスリン依存型」のタイトルについて・・・

19歳でクラブ歌手や米軍キャンプ等でライブ活動していたが様々な病気のためその都度職業が変わった。後に営業マンとして10年歌を続けながらトップクラスの成績を維持してきたが平成11年に1型糖尿病（インスリン依存型）と診断。度重なる肺炎で、入退院を繰り返し長年勤めた営業会社を退社。

1年間健康にかかわる食品や浄水器のセールスをし、平成14年より歌手としてライブ活動開始。メキメキ体力を回復、その年は今までのブランクを埋めるかのように40本のライブを自ら企画し出演した。平成15年に服部ミュージックスクールを開校。長年培ってきた歌のノウハウを指導、現在生徒数80名、実践型のレッスンで発表会やライブを中心に行う。

平成16年7月にシングル「心花」リリース。ラジオ、テレビの出演、ライブ、ディナーショーの他、有線放送、カラオケDAMにも乗り全国をキャンペーンで回る。

平成17年12月4日の地元島根県で行われた1型小児糖尿病の子供たちを支援するチャリティーコンサートには600人が参加。地元の支援団体に寄付し、その模様は山陰地方全土に8分のニュースとして取り上げられて話題になっている。

今回のタイトルの由来は、今まで隠してた病名を、同じインスリン注射を打ってる人たち、特に小さな子供たちに“この病気のおかげで僕は歌手の道を選び元気に活動している”という事を伝えたくタイトルにした。

「心花」について・・・

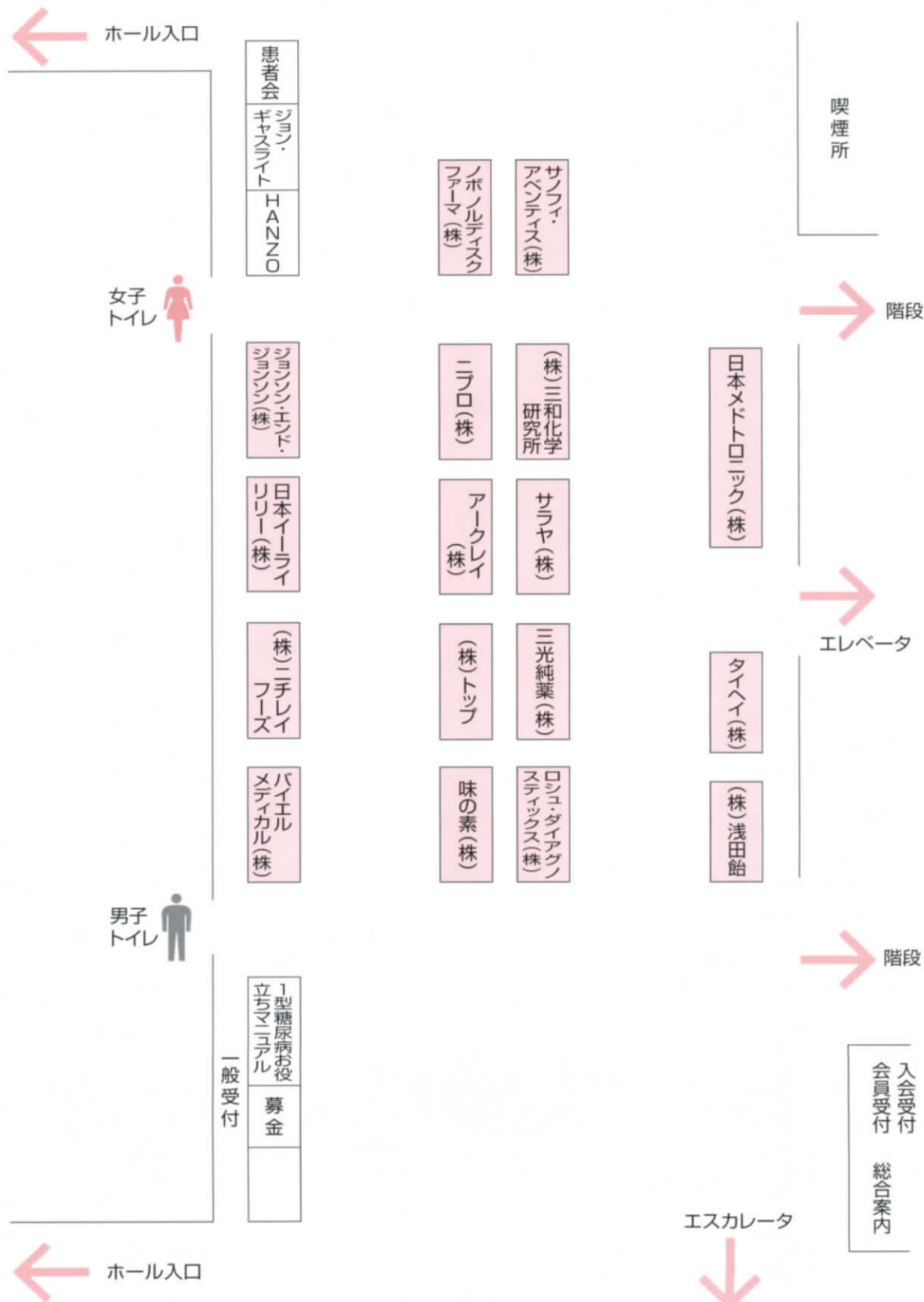
この曲は平成15年2月に発表した。少女が広い野原の真ん中でしゃがんで可憐な小さな花を眺めている風景が脳裏をかすめ、詞とメロディーが同時に出てきた。どんなに自分が情けなくて惨めと思っても心に花を持って真っ直ぐに進んでいけば必ず道は開けるから共に歩んで欲しい。特に同じ病気で頑張る子供たちをこの歌で応援していきたいとの思いでこの曲を歌いつづけた。

100円募金運動

CD1枚に対して、またコンサートチケット代から100円頂き（社）日本糖尿病協会に寄付する運動を平成17年3月より開始。



展示企業 配置図 Arrangement chart



(敬称略)



Shanthala Shamarao (Type 1 diabetes), India

その笑顔のために

ノボ ノルディスク ファーマは、
人々の生活の質の向上を願い、
優れた医薬品と質の高い情報の提供を通じて
社会に貢献したいと考えています。
患者さん、家族、そして医療従事者、
ひとりでも多くの笑顔をふやしていくことが
私たちの願いです。

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル
電話 (03) 6266-1000 (代表) FAX (03) 6266-1800
www.novonordisk.co.jp



Lilly

一般の方・患者様向け

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口 リリーアンサーズ

Lilly Answers

リリーの自己注射用注入器のご使用に関する
お問合せなどがございましたら、お気軽にお電話ください。

0070-800-24-9700

通話料は無料です。携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

0:00 8:45 22:00 24:00

月	音声ガイダンスによる対応	オペレーターによる対応	音声ガイダンスによる対応
火			
水			
木			
金			
土			
日			

製品に関するお問合せも受け付けております。 月曜日から金曜日 8:45~17:30

リリーの サポートプログラム

必要なとき、
必要な情報を。



お電話でも…

Webでも…



一般の方・患者様向け 糖尿病情報提供サイト

Diabetes.co.jp

www.diabetes.co.jp

糖尿病情報提供サイトDiabetes.co.jpは
患者さんをご家族を応援する情報を
多数ご用意しております。

一般の方向け糖尿病情報提供 i-modeサイト

www.iDiabetes.jp

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番5号

INS-AD26 (R0)
2004年8月作成



sanofi aventis

Because health matters



糖尿病の患者さんとその家族を 私たちは支援します。

★糖尿病の治療は食事療法と運動療法が基本です。
薬物療法については医師の指示をよく守ってください。

私たちの糖尿病に対する研究の始まりは、インスリンの発見(1921年)の10年前にさかのぼります。その結果、インスリンの製剤化や世界で初めて経口血糖降下薬を発売することができました。今日ではインスリン製剤・経口血糖降下薬を始め、自己検査用グルコース測定器を含むラインアップとなり、糖尿病医療全般にわたるお手伝いができるまでになりました。私たちは、これからも患者さんの病態に応じた診断から治療まで、糖尿病のトータルケアをサポートしていきます。

サノフィ・アベンティス株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

より良好な血糖コントロールと、
より快適な生活のために。



Medtronic
MINIMED



医療用具承認番号：21500BZY00070000

ミニメド インスリンポンプ モデル 508

日本メドトロニック株式会社
ダイアビティス・ビジネス

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア西館6F
Tel. 044-540-6326 Fax. 044-540-6160

<http://www.minimed.jp>

- 基礎レートは、30分ごと、0.1U刻みでプログラム可能
- 追加注入(ボラス)は、0.1U刻み、最大25Uまで
- 一時基礎レートの設定、多機能ボラスなど
- 1日300万回以上の安全性チェック機構



血糖測定器 ニプロフリースタイル フリーダム

大きな
文字

FreeStyle
FREEDOM
Blood Glucose Monitoring System

大画面

薄型軽量
(約40g)



新発売

新技術採用により、わずか**0.3μL**の血液で血糖測定が行えます。

指先はもちろん、手のひらや痛みの少ない腕からの採血・測定が簡単になりました。

●測定時間短縮(およそ5秒) ●お知らせアラーム機能搭載
いままでのニプロフリースタイルセンサーをそのままご使用いただけます。



NIPRO

製造販売

ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

お問い合わせ

ニプロフリースタイルに関する疑問・質問などございましたら、お気軽に下記「お客様相談窓口(通話料無料)」にお問い合わせ下さい。治療などに関しましては主治医にご相談下さい。

やさしい ニプロ

☎ **0120-834-226** 365日 24時間
受け付けております。

低血糖の補食でお悩みの方へ。いつでもすぐにブドウ糖を補給できます。



グルコレスキュー

1包に10g (0.5単位)
のブドウ糖

水なしで補給
できるゼリー状

甘酸っぱい
ヨーグルト味



商品番号: 11894

1,470 (税込)
円

(5包入り化粧箱×4)

※グルコレスキューの過剰な摂取は血糖コントロールを乱すこともありますので注意してください。

■お電話でのお申し込み/9:00~20:00 (年中無休)

☎ **0120-186-090**

■FAXでのお申し込み(24時間受付)

☎ **0120-186-091**

■インターネットでのお申し込み <http://www.club-arkray.net>

アークレイ マーケティング株式会社

〒601-8045 京都市南区東九条西明田町57

アークレイマーケティング株式会社は、アークレイの日本国内の販売株式会社です。



よりやさしく、より簡単に。血糖管理をサポートします。三和化学研究所のSMBG製品

小型血糖測定機

グルテストシリーズ



グルテストシリーズ[®]は、1991年の新発売より、多くの皆様にご愛用頂いております。測定機が進化しても、やさしさは変わりません。

※グルテストE、グルテストE II、グルテストエース、グルテストエースR、グルテストPRO、グルテストPROR、グルテストNeo

採血用穿刺補助器具

新発売



エースレット

ジェントレット

ラクレット

小型血糖測定機専用電極

ディスプレイザブル採血針



グルテストセンサー

グルテストNeoセンサー

SKK ブラッドランセット 30G

ジェントレット針 (専用針)

販売元
株式会社 三和化学研究所
SKK 本社/名古屋市東区東外堀町35番地 千461-8631
●ホームページ <http://www.skk-net.com/>

製品のお問い合わせは
0120-078130
365日24時間お受けいたします



点のデータから情報を導く、
効率的な療養指導ツール

アキュチェック コンパスJ



アイコン
クリックの
簡単操作
療養効果の
理解を深める
療養意欲の
向上に
療養指導の
効率化



Innovating
Health
Information

血糖自己測定器

ACCU-CHEK[®] Compact Plus
アキュチェックコンパクトプラス

血糖測定が簡単、便利、安全に！
片手操作でカンタン3ステップ



写刺器具
一体型

SMBG

許可番号 13B1X00001

院内専用血糖測定器

CareSist
ケアリスト

緊急・即時検査のニーズに
対応した血糖専用測定器



POCT

承認番号 208003GZ00044000



ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

0120-642-860

血糖自己測定 (SMBG)・本製品へのお問い合わせはフリーダイヤルへ
受付時間：月曜～金曜日(祝祭日を除く) 8:30～18:30
アキュチェックWebサイト www.accu-chek.jp/
ACCU-CHEK[®]はロシュ・ダイアグノスティクスの血糖測定関連製品の登録商標です。



アクティブは指先タッチつけるだけ!



◇視力に不安が...

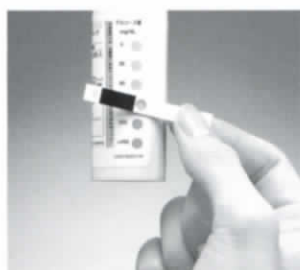
◇手の震えが...

アクティブなら指先タッチつけるだけ!



◇採血はうまく出来た?

試験紙サイズが大きく!血液が良く見えるから安心!



◇さらに!

血糖値の他に目視確認によるダブルチェックも出来るから安心感アップ!

自己検査用グルコース測定器

ACCU-CHEK®
Active II

~アキュチェックアクティブII~



販売: 三光純薬 (株)

製造販売: ロシュダイアグノスティックス (株)

株式会社トップ **TOP**

トップシリンジポンプ TOP-8100

~毎日のインスリン注入をより快適に、セーフティに~

・インスリン持続注入療法に適応するポケットナブルなポンプです。

小さく、軽いだけではなく、薬剤入りのシリンジがむき出しにならないデザインを採用。

ポンプ用のソフトケースも標準にて付属。

オプションではデザインにこだわったケースもご用意しております。

・また、生活のパターンに合わせて基礎注入量を1時間毎にプログラムできる機能を搭載しています。



TOP-8100

※ソフトケースタイプ2ネイビー (オプション品)



留置針A30 (斜め穿刺タイプ)

・留置針、翼状針などの消耗品も、腹壁の負担が少ないテフロン留置針、そのまま固定できる翼状針、垂直穿刺の翼状針等、品種が豊富です。

・テフロン留置針は、ラインと切り離しができ、入浴などに便利です。

・曲げても潰れにくいチューブを採用した粘着式の固定テープ付です。

・固定用テープを翼にすることで、軽く、薄く、柔らかい翼状針を実現しました (翼状針S30、S90)。



血糖測定機器

Ascensia™ アセンシア ブリーズ

医療用具許可番号:13BY6075

おぼえやすい 使いやすい 教えやすい

みんなにやさしい、手間いらずな血糖測定機器の誕生です。

- ハンドルを「引く」「押す」だけのセンサーセット
- 使用済みセンサーに触れることなく、廃棄が可能
- 自動校正で正確測定
- 一度のセットで10回測定
- マルトース、イコデキストリンなどの影響を受けません

お問い合わせコーナー/平日(月~金)9:00~17:30

0120-123119

製品に関するお問い合わせはフリーダイヤルへ(料金無料)

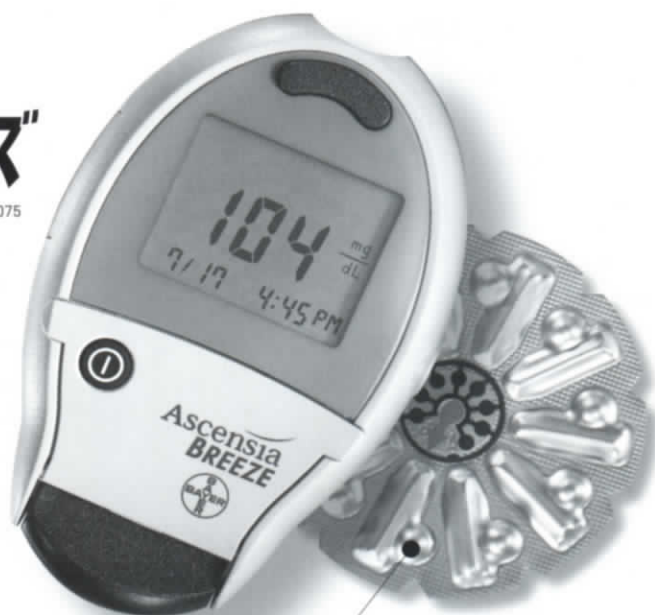
バイエル メディカル株式会社

〒100-8263 東京都千代田区丸の内1-6-5

JD0105A51C

糖尿病を持つ人の応援サイト

<http://www.ascensia.jp>



オートディスク センサー



Bayer HealthCare

バイエル メディカル株式会社



製造販売元

ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社

メディカル カンパニー ライフスキャン事業部

〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号

<http://www.LifeScan.jp>

本製品に関するお問い合わせは

ライフスキャン カスタマーセンターまで

0120-1113-903(無料通話)

24時間365日受付 ©J&JKK 2005

*2型糖尿病患者を対象としたスタディによる
文獻名: Dawn M, Bina, Richard M, Bergenstal, Robyn L, Anderson, David M, Kendall, Mary L, Johnson - Clinical Impact of Prandial State, Exercise, and Site Preparation on the Equivalence of Alternative-Site Blood Glucose Testing. Diabetes Care 26:981-985 2003



試されましたか? 「手のひら測定」

血糖自己測定器 ワンタッチウルトラ™

神経の集まる指先を避けて、面積の大きな手のひらから測定することで採血時の痛みを軽減し、安定した測定を簡単に行うことが可能です。また、指先からの測定との相関性も高いことが分かっています。*

「手のひら測定」は、皆様の笑顔をサポートします。

*詳しくは主治医にご相談ください。



許可番号:07BY0001



気くばり御膳



1食当たり320kcal以下、食塩相当量を2.8g以下に調整し、たんぱく質、脂質、炭水化物の三大栄養素のバランスを考慮した冷凍タイプの惣菜セットです。
あとはごはんなど主食の増減でカロリーが調整できます。緑黄色野菜も入ったボリューム満点なおかずの数々！
Aセット、Bセット各7食のセット販売で、和・洋・中の全14種類のメニューをご用意しました。

冷凍だから電子レンジで調理が簡単!!
美味しく食べて健康キープ



レンジ加熱時間の目安
500W:5分30秒 / 600W:4分30秒

※冷凍食品の加熱目安は、電子レンジの加熱時間ではなく、加熱時間と加熱量に合わせた加熱時間です。

※内容量240g・エネルギー300kcal・たんぱく質16.4g・脂質12.4g・炭水化物30.0g・ナトリウム470mg（食塩相当量2.5g）

全メニュー
kcal
↓
320kcal以下

全メニュー
Salt
↓
食塩相当量 2.8g以下

電子レンジで
簡単調理

「気くばり御膳7食」 A セット

中華	洋食	和食
・焼売セット ・かに玉セット	・照焼ハンバーグセット ・ロールキャベツセット	・豆腐ハンバーグセット ・粗挽きミートボールセット ・五目豆腐のあんかけセット

「気くばり御膳7食」 B セット

中華	洋食	和食
・八宝菜セット ・スープ餃子セット	・オムレツセット ・デミグラスハンバーグセット	・牛肉のすき焼き風セット ・あじのハンバーグセット ・豚肉の野菜炒めセット

※気くばり御膳は7食セットのみの販売となりますのでご了承ください。
また、新鮮クール便でのお届けとなります。
※冷凍食品取扱の注意 -18℃以下で保存してください。

1食のサイズ
約167×167×35mm

●発売元
株式会社ニチレイフーズ 〒104-8402 東京都中央区築地6-19-20

●商品のお問い合わせは
ニチレイフーズダイレクトコールセンター
(受付時間 平日/9:00~18:00 ※土・日・祝日はお休みとさせていただきます。)

☎0120-86-2101
<http://wellness.nichirei.co.jp>

ご利用者様の方からのご要望です。

「手間のかからない食事」

カロリーコントロールシステム

C・C・Sのタイヘイから、ご提案します。

糖尿病などの食事療法に、ダイエットに、健康を心がける方に、おすすめします。

●レンジでチンするだけの食事 **ヘルシー御膳（冷凍）**

食事の組み合わせで1日、1200~1800キロカロリーの食事ができます。



栄養計算済みの
〈1食が〉
控えめの
〈200キロカロリーで〉

配達付で（夕食コース）
777円(税込)
(他に朝食・昼食コースもあります)

資料をご請求下さい

最寄りのタイヘイより
メニューブックをお届けいたします。

☎0120-911-030
フリーコール

ホームページ
<http://www.taiheiFamilySet.com/>
iモード用ホームページ
<http://0120144910.com/>

タイヘイ株式会社
東京都江戸川区松江7-8-10 〒132-8686



糖尿病や肥満症の方に適した

カロリーゼロの自然派甘味料!

Q.O.L (クオリティー・オブ・ライフ) 向上にお役立てください。

厚生労働省許可  特別用途食品

- POINT 1** 羅漢果エキスとエリスリトールから生まれました。
中国の果実「羅漢果」から抽出した高純度エキスとワインやキノコなどに含まれる甘味成分エリスリトールの天然素材の甘味料です。
- POINT 2** 熱に強く、加熱しても甘さは変わりません。
加熱による変質がないので、調理手順を変えることなく、煮る・炊く・焼くなど様々なメニューに使えます。
- POINT 3** 砂糖と同じ甘さで計量が簡単。
面倒な重量換算の手間がいらないので、砂糖をラカントSに替えるだけで簡単にカロリーダウンできます。



〈羅漢果とは〉

中国桂林に自生するウリ科の植物。その果実の高純度エキスには砂糖の約300倍の甘味があり、コクのある豊かな風味を持っています。「ラカントS」には、100g当たり2.3個分の羅漢果エキスを配合しています。



顆粒 210g

ヘルシーレシピや生活習慣病に関する

情報がいっぱい!!

<http://www.kenkoukazoku.net/>

自然派の **サヤ**



0120・26・1610

年中無休 / 受付時間: 9時~19時

A 株式会社 浅田飴

厚生労働省許可 特別用途食品

糖尿病の方におすすめの甘味料です!

低カロリー甘味料 シュガーカット

- 血糖値及びインスリンへ悪影響を及ぼしません
- 低カロリーで甘さは砂糖の約2倍(重量比)
- コーヒー、紅茶、冷たいお飲み物、加熱料理にも最適です

原材料: 還元麦芽糖水飴、水溶性食物繊維、甘味料(サッカリンナトリウム)



ノンカロリー甘味料 エリスリム

- 血糖値及びインスリンへ悪影響を及ぼしません
- カロリーゼロで甘さは砂糖の約3倍(重量比)
- コーヒー、紅茶、加熱料理にも最適です

原材料: エリスリトール、甘味料(スクラロース)





あしたのもと
AJINOMOTO.

糖尿病や肥満症の方に



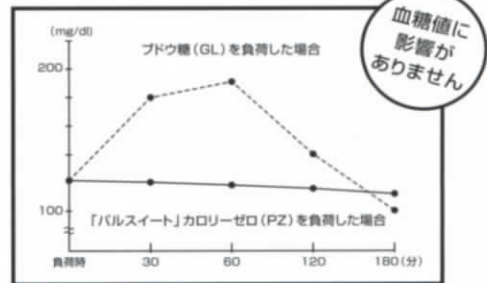
パルスweet。カロリーゼロは
カロリーがゼロ、糖分もゼロ。
アミノ酸から生まれた究極の甘味料です。



*携帯用に便利なスティックタイプもあります。

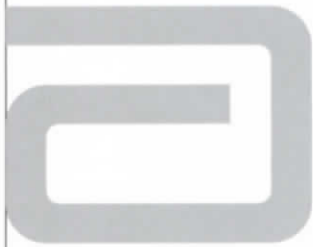
コーヒーなどの飲みものはもちろん、
煮物やお菓子づくりなどのお料理にも
お使いいただけます。

*お近くのスーパー、百貨店、薬局等でお求めいただけます。



*糖尿病型及び境界型の高血糖症例への「パルスweet」カロリーゼロ
負荷による血糖値に及ぼす影響「臨床栄養」vol.106 No.4 2005.4より

- 「低カロリーレシピ」公開中
<http://www.ajinomoto.co.jp/pal/>
- お問合せ：TCI「パルスweet」事務局
TEL03-3518-2395 FAX03-3291-0223
e-mailアドレス palsweet@remus.dti.ne.jp



血糖自己測定器 プレジジョン エクシード®

もっとやさしく
もっと信頼できる
血糖測定へ。

洗練されたフォルムが物語る
先進のメディカルテクノロジー。



<p>TRUE NEW 血糖用 (G3血糖測定電極)</p>	<p>■他の糖類 (マルトース、ガラクトースなど) の影響を受けません。 ■60種類以上の薬剤・ビタミンによる影響を受けません。 ■指先・前腕・上腕・親指の付け根から採取が可能です。 ■1.5μLの血液量で測定が可能です。 ■約10秒で測定が可能です。</p>	<p>ケトン体用 (β-ケトン測定電極)</p>
	<p>*前腕・上腕・親指の付け根でのご使用になる場合は、裏面に記載ください。</p>	

*診断・治療にあたっては、医師にご相談ください。

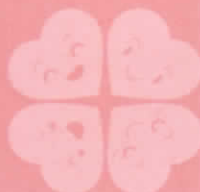
〈医療用具許可番号: 128Y0015〉

アボット ジャパン株式会社 本社/〒106-8535 東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル

■お客様相談窓口	通常窓口	月～金曜日 (祝祭日をのぞく) 9:00～17:00
☎0120-37-8055	時間外緊急窓口	月～金曜日 7:00～9:00 17:00～21:00 / 土・日・祝祭日 9:00～17:00

Abbott
A Promise for Life

第1分科会 Section One



より良いコミュニケーションのために 語り合おう～患者の気持ち・医療者の気持ち～

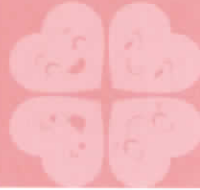
この分科会では、患者と医療者の立場の違いによる考え方の違いを理解しあうことが目的です。

ほんの少し、相手の気持ちを考えてみることで患者、医療者双方が気分良くコミュニケーションを取ることが出来るのではないのでしょうか。

1. 病院内での患者と看護師の何気ない会話の中で、両方の気持ちがすれ違う場面を見せ、同じ内容の会話でもほんの少しの配慮で全く違う受け取り方になるという例を紹介
2. 毎月の通院で患者が何を考えているのかをコミカルに紹介
3. 毎日病院の内でもまぐるしく過ぎていく医療者の日常を紹介
4. 1型糖尿病患者のとある1日を紹介
5. いくつかの例を紹介後に少人数のグループに分かれて問題解決について話し合い、その内容を発表しあいます。



第2分科会 Section Two



かんたん!カーボカウント ～炭水化物で決めよう! インスリン～

講師 **藤本 浩毅**
(ふじもと ひろき)

プロフィール

- 2002年/大阪市立大学生活科学部食品栄養学科卒業
- 2003年/管理栄養士、サプリメントアドバイザー
- 2004年/生活科学修士(大阪市立大学院 食・健康科学研究科)
大阪市立大学医学部付属病院栄養部勤務

◆分科会で話し合うポイント

- 1・食事療法の必要性
- 2・必要摂取エネルギーと炭水化物量
- 3・インスリン量の計算方法
- 4・カーボカウントと食品交換表の違い
- 5・炭水化物を気にする食品と無視する食品
- 6・GI値

講師 **丸山 千寿子**
(まるやま ちずこ)

プロフィール

日本女子大学家政学部食物学科教授

◆分科会で話し合うポイント

インスリン量を決めるために

- 1・糖質の種類によって区別すべきか
- 2・脂質を無視して良いのか

第3分科会 Section Three

学校関係者と家族のための1型糖尿病教室

東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科助手

講師 大杉 満
(おおすぎ みつる)

1型糖尿病とは、どのような病気なのかの説明

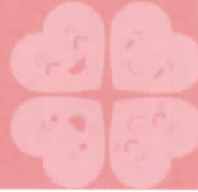
- ・ インスリンと血糖値の関係。
- ・ インスリンは体のどこから出てくるか？
- ・ 1型糖尿病とはなにか。
- ・ 日本に1型糖尿病の患者はどれほどいるか。
- ・ 治療しないと1型糖尿病は体にどんな影響を与えるか。
- ・ 1型糖尿病はどうやって治療するか。
- ・ 学校に通うことと、糖尿病の治療はどうやって両立させるか。
- ・ 学校で気をつけること など

小学校養護教諭

講師 大崎 久美子
(おおさき くみこ)



第4分科会 Section Four



大災害、その時あなたはどうする?! ～災害時の行動指針と支援～

山本 康史
(やまもと やすし)

プロフィール

- 1973年8月2日生まれ
- 三重大学工学部卒
- 三重県伊勢市在住 会社役員
- 主な参加団体/ハローボランティア・ネットワークみえ代表(イベント支援)、三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会議長(防災)、伊勢志摩NPOネットワークの会正会員(NPO活動支援)、三重県熊野古道アクションプログラム事務局 市民事務局(まちづくり)

◆分科会で話し合うポイント

これからの情報提供

- ・ 大規模災害とは?(日本全国どこでも大規模災害の可能性がある)
- ・ 災害からの復旧・復興「自助7 共助2 公助1」の原則

全体からの意見募集

- ・ IDDM患者が災害に見舞われたときの不安点
- ・ 災害に備えて自分にできること(自助)と行政にお願いしたいこと(公助)

まとめ

- ・ 災害時に備えた平時からの備えの重要性(自分マニュアルのススメ)



特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク 概要 Outline

日本IDDMネットワークの役割

日本IDDMネットワークは、患者・家族の会の全国的連携を図りながら、病気に対する理解を深め、患者の心のケアに努めることで、患者が自立できるよう支援して参ります。

具体的には、主に以下のような非営利の事業を行います。

1. ネットワークの拡大・支援

個々の患者・家族の精神的サポートのため、患者・家族の会がない地域での設立支援や当法人に未加入の会との情報交換等を行います。

2. 政策提言

調査研究結果、相談内容等を踏まえ、20歳以上の患者への支援策等、具体的な政策を提言します。

3. 調査研究

災害時におけるIDDM患者の行動・支援指針の作成、スタンフォード大学が開発した「慢性疾患セルフマネジメントプログラム」の日本導入、京都大学移植外科・膵島移植グループとの共同研究、「1型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアル」の作成等、毎年テーマを設けて取り組みます。

4. シンポジウムと患者・家族交流会

全国の患者や家族並びに各患者・家族会が抱える課題の克服に向けて、シンポジウムと全国交流会を毎年開催します。

5. 関係団体との連携

医療関係団体との情報交換等を通して、よりよい医療のあり方を考えます。

6. 普及啓発

取材や番組制作への協力等を通して、1型糖尿病に関する広報・啓発活動に取り組みます。

7. 療育相談

ホームページ等を通して、各種情報の提供や相談に対応します。

8. 会報発行

最新情報や患者・家族の抱える課題等を掲載した会報・メールマガジンを発行します。

一生つきあって行かなければならないこの病気を宣告された時のショックはみんな一緒です。みんなで励まし合うことで、少しでも同じ病気で悩んでいる人達のお役に立てればと思っています。

こうした事業を通して、一人でも多くの患者が自立して社会で活躍して行くことは勿論のこと、社会貢献活動にも積極的に関わりを持ってくれることを期待しています。

設立と趣旨と経緯

平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災では、被災地の患者はインスリンの入手等に大変な苦勞を強いられました。この震災が契機となり、こうした緊急時の対応を含めた全国の患者・家族会の連携を図るため、同年9月に「全国IDDM連絡協議会」が発足しました。

その後、ニーズの拡大に伴い、全国のインスリン依存型糖尿病患者の自立推進母体としての社会的使命に積極的に応えられるよう、平成12年8月21日に「全国IDDM連絡協議会」を発展的に解消し「特定非営利活動法人全国IDDMネットワーク」を設立いたしました。

さらに、平成15年6月に、先進国の事例を学びながら世界を視野に入れた事業展開も目指すべく「特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク」へと改称いたしました。





日本IDDMネットワーク 10年の歩み Chronology

1995年

- 1月17日 阪神淡路大震災発生
- 9月3日 全国IDDM連絡協議会(会長 薄井俊明)発足

1998年

- 6月14日 代表幹事に井上 龍夫 就任
- 11月8日 全国7地区(ブロック)の担当幹事が就任

1999年

- 11月13・14日 第1回全国患者・家族交流会を愛知県大府市で開催

2000年

- 8月21日 特定非営利活動法人全国IDDMネットワーク設立
特定非営利活動法人化に伴い事務局を佐賀県佐賀市(佐賀医科大学小児科内)へ移転
- 10月28・29日 第2回全国患者・家族交流会を大阪市で開催

2001年

- 11月10日・11日 「1型糖尿病について考えるシンポジウム」及び第3回全国患者・家族交流会を広島市で開催

2002年

- 3月 1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアルを5000部作成
- 11月9日・10日 「1型糖尿病患者の危機管理を考えるシンポジウム」及び第4回全国患者・家族交流会を名古屋市で開催

2003年

- 3月10日 事務所を佐賀医科大学からJR佐賀駅前の市民活動プラザ(佐賀駅前中央1-8-32 iスクエアビル3F)へ移転
- 5月~ 患者への心理的・精神的サポートに関する調査研究に取り組む
- 6月 1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアルを2000部増刷(累計7000部)
- 6月9日 名称を「日本IDDMネットワーク」へ変更
- 12月20日・21日 「1型糖尿病を考えるシンポジウム~医療関係者と患者・家族との理想的な関係を考える~」及び第5回全国患者・家族交流会を熊本市で開催

2004年

- 4月 個人会員募集をスタート(総会議決権はないが正会員より低価格で入会可能に)
- 10月 スタンフォード大学へ1型糖尿病患者(京野文代氏)を派遣し、同大学が開発した「セルフマネジメントプログラム」の日本導入に向けて本格的な準備に着手。
- 11月25日 参議院厚生労働委員会で20歳以上の患者支援実現に関して「今後の課題だと思っているので、難病対策まで含めて整理して考え方を示すべく、検討する」旨の厚生労働大臣答弁や「継続した治療が受けられるよう成人の難病対策との連携を可能な限り図るとともに、福祉サービスの充実についても取り組むこと」という同委員会の付帯決議がつくに至る。
- 12月4日・5日 「1型糖尿病における最新医療を考えるシンポジウム」及び第6回全国患者・家族交流会を大阪府高槻市で開催

2005年

- 3月13日 京都大学附属病院移植外科髙島移植チームの医師と「髙島移植研究会」を立ち上げる。
- 5月 災害時のIDDM患者の行動・支援マニュアルの作成に着手
1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアルPart1(改訂版)を3,000部発行(累計1万部)
1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアルPart2を7,000部発行
- 8月1日 1型糖尿病研究基金を設立
- 10月1日 スタンフォード大学が開発した慢性疾患セルフマネジメントプログラムの日本導入に向けて、日本慢性疾患セルフマネジメント協会(伊藤雅治 理事長)が設立。井上龍夫理事長が同協会役員に就任。

2006年

- 1月28日・29日 創立10周年記念イベント「1型糖尿病を考える全国フォーラム」を東京都で開催

1型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアルのご案内 Reference

特定非営利活動法人日本 IDDM ネットワークの本 1型糖尿病お役立ちマニュアル

1型糖尿病の患者・家族に必要な「情報」を患者・家族の視点からお届けします。

PART 1 初級編



1型糖尿病とその治療
心の問題
学校生活
低血糖を減らせ! 大作戦
食事とグリセミックインデックス
患者・家族の思い
社会保障制度
患者・家族会の役割
専門の医療機関

PART 2 中級編



1型糖尿病の基礎知識
膵島移植の現状と将来
妊娠と出産
1型糖尿病の正しい食事療法
歯周病とその予防
患者への心理的・精神的サポート
家族の思いとそこかわり方
学校における対応

自動車運転免許制度の改正点と対応
一人暮らしの注意点
就職～公正な採用に向けて～
1型糖尿病患者が加入できる保険
災害時のインスリン供給
1型糖尿病の医療費の仕組み
20歳以上の患者支援策に向けて

マニュアルのご注文



- お役立ちマニュアルの「パート1」をご希望の方は、1部につき800円、「パート2」をご希望の方は、1部につき1,500円のご寄付をお願いいたします。
- メール、郵送又はFAXにて、マニュアルの送付先と、「パート1を○部」「パート2を○部」の形で希望部数をご記入の上、下記までお申し込みください。

特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央1丁目8-32
iスクエアビル3F 市民活動プラザ内 レターケースNO. 42
電話:090-2713-7849 陶山(すやま) E-mail:i-net@isis.ocn.ne.jp
FAX:0952-40-2011

※当法人専用のFAXではありませんので、送信される場合は必ず当法人の名称に続けてレターケースNo.42を記載してください。

- ご連絡いただきましたら当マニュアルとご寄付の振り込み用紙を送付させていただきます。



入会のご案内 Guide of admission

全国各地の患者・家族会のネットワークを基本として運営していますが、お住まいの都道府県に患者・家族会がない場合等、ひとりで悩まないで！お気軽にお尋ねください。

ホームページでも詳細をご紹介します。事業報告書、役員名簿、定款等も掲載しています。

入会手続（正会員、賛助会員の場合は、下記の入会申込書を事務局まで送付ください。）

●正会員・賛助会員入会申込書様式

特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク 理事長	様	年 月 日
	住所又は所在地 氏名又は名称	印
特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク入会申込書		
下記のとおり入会したいので、特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク定款第7条第2項の規定により申し込みます		
記		
1 会員の種別	正会員	賛助会員
* 該当するものを○で囲んでください。		
* 正会員及び賛助会員は、総会で定める会費を納入していただきます。 (平成17年度は一口5,000円、何口でも結構です。なお、見直す場合がありますので、 ホームページでご確認ください。)		

●毎年度、個人会員を募集しています。

〇〇年度個人会員募集のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)日本IDDMネットワークでは、毎年度個人会員を募集しています。この個人会員は正会員とは異なり、総会での議決権はありませんが、そのぶん会費を低く抑えることにより、個人の方でも参加しやすくなるようにいたしました。

お住まいの地域に患者・家族会がなかったり、患者・家族会へ参加するまでには至っていない方々などへ、IDDM(インスリン依存型糖尿病、1型糖尿病)に関する様々な情報を提供したり、日頃お困りのことなどについてのご相談をお受けしたりすることで、会員の皆様の声を当ネットワークの政策提言や事業展開に繋げて行きたいと考えております。

以下、募集要項をご覧ください。ご入会をお待ちいたしております。



3. 会員特典(毎年度見直しますが、概ね以下のように考えています)

(1) メールマガジンの送付(年4回程度)

内容:○新製品情報

○製品レビュー

○DM関連医療従事者のお話(療養指導士・看護師など)

○患者(1型糖尿病)の話

○医療・福祉情報

○役員雑記

○担当者コラム

○日本IDDMネットワーク情報 など

*電子メール環境のない方には、郵便またはFAXでお送りいたします。ご希望の発送方法をお知らせください。

(2) 当法人作成の本(1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアル等)の配付

(3) 調査研究結果の送付

(4) 全国シンポジウムおよび全国患者・家族交流会への案内と参加費の会員割引

(5) 地区交流会(地方ブロック別交流会を年2箇所程度開催)への案内

(6) 会員用メーリングリストでの相談やタイムリーな情報提供

※当法人では医療専門アドバイザーとして内科、小児科、移植外科の専門医の先生方に就任いただいております。

4. 年会費(以下は平成17年度です。見直す場合がありますので、ホームページでご確認ください)

(1) 4月1日から6月30日までに入会の方——2,800円

(2) 7月1日から9月30日までに入会の方——2,100円

(3) 10月1日から12月31日までに入会の方——1,400円

(4) 1月1日から3月31日までに入会の方——700円

5. 入会方法

○住所、氏名ならびに電子メールアドレスまたはFAX番号を下記宛にお知らせください。

(1) 電子メールの場合

suyama.e@sage.ocn.ne.jp(担当:陶山(すやま))

(2) 郵送またはFAXの場合

事務局:〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央1丁目8-32 iスクエアビル3F 市民活動プラザ内
レターケースNo.42 特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク宛

FAX:0952-40-2011

(当法人専用のFAXではありませんので、送信される場合は必ず当法人の名称に続けて「レターケースNo.42」と記載してください)

(3) 電話の場合

TEL:090-2713-7849(担当:陶山(すやま))(個人会員入会希望とお申し出ください)

*ご連絡いただいた方には、会費の郵便振替用紙を送付させていただきますので、お近くの郵便局で納入をお願いいたします。会費納入確認後、会員として登録させていただきます。

ご寄付のお願い

当法人の事業を、ご支援いただける方々のご寄付をお願い申し上げます。

郵便振替口座 口座名義:特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク

口座番号:01780-7-73905

お問い合わせ先

■理事長/井上 龍夫

〒446-0071 愛知県安城市今池町2-1-28 2-502 TEL&FAX 0566-98-6016

■事務局

〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央1丁目8番32号 iスクエアビル3F 市民活動プラザ内

TEL 090-2713-7849(陶山専務理事) FAX 0952-40-2011

(当法人専用のFAXではありませんので、送信される場合は必ず当法人の名称に続けて「レターケースNo.42」と記載してください。)

ホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~i-net/index.htm>

Eメール i-net@isis.ocn.ne.jp

